

市議会だより

大月市

平成 26 年 5 月 30 日発行 No.134

大月市立中央病院 新病棟での診療スタート



CONTENTS

平成 26 年第 1 回市議会定例会	P. 2～
(主な議案の内容)……………	
予算審査特別委員会……………	P. 4～
議決結果一覧表(各議員)……………	P. 6～
・一般質問(代表質問・個人質問)	P. 8～
・意見書……………	P.16
・委員会審査の様子・会派構成…	P.17
・行政視察研修報告……………	P.18～
・広域行政……………	P.20
・認知症サポーター養成講座……	P.21
・議会日誌……………	P.22

(総合診療科 野村医師)

大月市議会第1回定例会

こんな事が決まりました。

2月28日～3月20日（21日間）

ります。

今定例会の議案（審査付託先）

市長提出案件

条例……………	25件	（各常任委員会）
当初予算……………	9件	（予算審査特別委員会）
補正予算……………	8件	（各常任委員会）
その他……………	2件	（各常任委員会）
人事……………	2件	
議会提出意見書……………	1件	

主な議案の内容

条 例

市長、教育長の給与を20%削減します

◎大月市長等の給与の減額に関する条例中改正

厳しい財政状況の中、平成26年度も引き続き、市長、副市長及び教育長の給料月額を20%減額するものであ

重度心身障害者医療費助成金の支給方法を自動還付方式に変更します

◎大月市重度心身障害者医療費助成条例中改正

平成26年11月1日から、重度心身障害者医療費助成金の支給方法を窓口無料方式から自動還付方式に変更すること、併せて改正すべき字句等があることから、所要の改正を行うもの。

市立中央病院で口腔外科の診療を開始します

◎大月市病院事業の設置等に関する条例中改正

平成26年度から、「歯科口腔外科」の診療を開始することに伴い、標榜診療科目に新たに追加する必要があることから、所要の改正を行うもの。

◎大月市消防団員等公務災害補償条例中改正

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」の一部が改正されたことに伴い、引用条項を改める必要があることから、所要の改正を行うもの。

消防団員の退職報奨金を5万円引上げます

◎大月市非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例中改正

「消防団を中心とした地域防災力の充実強化に関する法律」が公布されたことに伴い、消防団員の退職報奨金の引き上げを行う必要があることから、所要の改正を行うもの。

消費税の改正により市内各施設（左記施設）の使用料・手数料等を引き上げます

◎大月市学校施設及び公民館使用に関する使用料条例中改正

【以下、施設名・事業名のみ列挙】

- ・大月市民会館
- ・大月市立図書館
- ・大月市郷土資料館
- ・大月市西部ふれあいセンター
- ・大月勤労者体育センター
- ・大月市総合グラウンド
- ・大月市西部農村環境改善センター
- ・大月市農産物加工場
- ・大月市総合福祉センター
- ・大月市下水道
- ・大月市簡易水道
- ・大月市立中央病院

「消費税法及び地方税法」の改正により消費税等の税率が引き上げられることに伴い、使用料を改める必要があることから、所要の改正を行うもの。

【中央病院では他の病院との均衡をはかる必要があることから特別室料、文書料（診断書、証明書等）の改正を併せて行うもの】

予算(当初)

◆基本方針

「歳入に見合った歳出」
「教育、医療に重点」

新規事業及び主要事業

◎大月東小学校校舎・体育館建設事業

(4億302万円)
学校適正化により中核校となる大月東小学校校舎・体育館の耐震化を図るため、工事に着手する。

◎大月東中学校プール建設事業

(7,815万円)
学校適正化により中核校になる大月東中学校校舎整備に続き、プール施設を整備する。

◎統合小学校施設整備事業

(8,613万円)
大月第一中学校を小学校化するため、施設を改修・整備する。

◎大月短大施設整備事業

(2,418万円)

大月短大の施設整備のための実設計に着手する。

◎子育て支援医療費助成金支給事業

(6,327万円)

小児の医療費に助成を行う事により、小児の健やかな成長に寄与するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。(うち中学生通院費助成は26年度新規事業)

◎指定避難場所太陽光発電施設等導入事業

(2,499万円)

地域防災拠点(指定避難所)である猿橋中学校へ太陽光発電施設(7・5kw)、蓄電池(15kwh)を導入する。

◎中央公民館(市民会館)改修事業

(3,435万円)

施設の安全対策に資するため、エレベーターの改修を実施する。

◎中央病院新病棟建設事業

(3億6,089万円)

東部医療圏の中核病院として施設の整備を行い、増加する医療需要に応え、高度な医療サービスを提供する。【26年度完成】(23年度26年度総事業費32・6億円)

◎中央病院施設整備事業

(1億9,295万円)

既存棟である南棟、給食棟、医師宿舎等の改修及び医療機器の整備を実施する。

◎市制60周年記念事業

(170万円)

NHK公開番組「ふるさと自慢、うた自慢」、市制記念式典、広報市制60周年特集、記念事業(かがり火市民祭り・十二単衣の富士を見るハイキングツアー、鮎釣り大会、大ツキ軽トラ市)の開催

◎シルバーお出かけパス交付事業

(2,893万円)

◎障害者お出かけパス交付事業

(120万円)

◎下水道特別会計繰出金

(4億42万円)

桂川流域関連大月市公共下水道計画に基づき、市民の快適な生活環境の創出と河川の水質保全を目的として、下水道整備を行う。

◎大月都留広域事務組合負担金

(6億8,363万円)

ごみ処理・し尿処理施設

の維持管理及び施設周辺整備等に係る負担金

◎東部地域広域水道企業団関係事業

(1億9,213万円)

予算(補正)

25年度3月追加補正

2月14日～15日の大雪に係る補正総額は1億3,030万円

◎市道等除雪経費

(9,382万円)

◎農業施設倒壊撤去費用助成

(200万円)

◎災害救助活動事業

(1,165万円)

その他

◎市道の路線変更認定の件

道路法第10条第2項の規定により、市道の路線変更認定を行うもの。

- ・市道梁川猿橋線
- ・市道奈良子2号線

人事

◎大月市教育委員会委員の任命について同意を求める件

大月市教育委員会委員の任期満了に伴い、新たに1名の方が任命されました。

○大月市大月町真木

藤本 政一

◎大月市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件

大月市固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、新たに次の方が選任されました。

○大月市七保町浅川

加藤 光三



当初予算を可決！

予算審査特別委員会において、議会側から出された質問・意見等に対し、市（当局）からの回答です。以下、主なものを紹介します。



委員長
後藤 慶家



副委員長
古見 金弥

平成 26 年度予算審査特別委員会 委員長報告（要旨）

予算審査の過程において、各委員から出された多くの意見のうち主なものを2点ほど申し上げます。

- ① 税収等の減少が見込まれ、厳しい財政運営を余儀なくされている現状、市単独の財源確保は喫緊の課題であります。こうした状況のもと、財源確保するための手段として、市公共物を含めた市有財産等、処分可能となる財産等を再度洗い直し、積極的に土地等売却し財源の確保に努められたい。また、財政を逼迫させている要因の一つである旧土地開発公社が所有していた、用地については、収益等ある用地を除き、早期に売却等するよう努められたい。

なお、処分にあっては、処分規定はあるものの、既成概念にとらわれず、経営的感覚の上に立ち、処分方法等駆使し、積極果敢に取り組んでいただきたい。

また、用地取得に当たっては、公有地として、既に、賃貸等で使用している用地については、費用対効果、あるいは、効率的運用の観点に立ち、可能な限り、買い取り等による取得に努められたい。

- ② 医療を取り巻く環境は、一向に好転の兆しが見えず、厳しい病院経営が続いている状況下、災害拠点病院としての機能を強化し、目前に新病棟での診療がスタートする中、整形外科医1名、内科医1名（総合診療科）、眼科医1名の3名の医師が常勤することとなり大いに期待をしている所があります。

しかしながら、病院運営においては、赤字経営が続いており、この現状から目を逸らすことのできない中、この機を逃すことなく、病院再生に向け、ありとあらゆる手段を講じ、経営健全化に取り組んでいただくと共に、引き続き、医師、看護師等病院スタッフの確保にも努め、信頼される病院を目指してもらいたい。

なお、厳しい財政状況のもと、財政健全化、あるいは、病院経営の健全化にあっては、市長指揮のもと、全職員一丸となり、そして、議会も一丸となり、この難局に立ち向かい、市民が信頼し、安心して生活のできるまちづくりに、更に努力するようにとの意見もありました。

そのほか、多くの委員から多数の活発な質疑がありましたが、詳細については、会議録にとどめてありますので、ご了承願います。



平成26年度

市議会からの 質問・意見

市（当局）からの 回答

中央病院 について

- ①市内の透析患者は93名おり、中央病院に48名が受診していると聞くが、市外へ行っている患者を中央病院で診療できないか。
- ②平成26年度は常勤医師が何名増えるか。
- ③整形外科が再開されるが、売り上げはどうか。
- ④リハビリスペースが広く作っているが、増収見込みや活用方法は。
- ⑤看護師の確保について、修学資金と支度金を利用している人数は。

- ①透析の職員等を増やして対応していきたい。
- ②4名から5名の常勤医師を確保して、13名を目指している。
- ③入院と外来を合わせて、月に500万円程度を見込んでいる。
- ④リハビリは医師の処方による。整形外科の医師も増え、増収が期待できる。
- ⑤支度金は2名程度を想定している。奨学金は平成25年度の利用者は10名、平成26年度は6名となっている。

財政健全化 について

- ①税収の確保は容易にできない状況の下、滞納金は多大であり、市の財政に多大な影響を及ぼしている。現課にとどまらず、全庁的な対応を図り収納率の向上、強化に努めることを望む。

- ①市の歳入の中心となる市税等の収納率は、税負担の公平性の観点からも重要な課題であり、また、直接市民サービスにも大きく影響することから、より一層の徴収体制等の強化に努めなくてはならない。このため、次の6点の対応に基づき、徴収率の向上を図る。
 - 1、担当職員の育成
 - 2、公法に基づき徴収を行う
 - 3、全庁的な対応を図り徴収率を向上させる
 - 4、新規滞納者の発生抑止
 - 5、徴収方法の利便性の向上
 - 6、納税意識を高揚させるための普及活動

財産管理 について

- ①公社の財産を今後管理するわけだが、駐車場等の管理費はどうか。

- ①不動産収入として、公社の関係する用地は、4,856万円である。内訳として、大月駅西駐車場1,300万円、猿橋駅西駐車場600万円、初狩奥丸田1,695万円が主な歳入であり、支出としては、駐車場管理費、ゆりヶ丘の管理費等100万円程を計上している。

平成26年3月定例会議決結果等一覧表

(賛成○ 反対● 棄権―) ※小泉二三雄議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	天 野 祐 治	大 石 源 廣	相 馬 保 政	奥 脇 一 夫	後 藤 慶 家	古 見 金 弥	西 室 衛	小 原 文 司	山 田 善 一	卯 月 政 人	山 田 政 文	鈴 木 章 司	小 林 信 保	藤 本 実	結 果
報告	専決第1号	平成25年度 大月市一般会計補正予算 (第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例	第1号	大月市消防長及び消防署長の資格の基準を定める条例制定の件															原案 可決
	第2号	大月市長等の給与の減額に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	第3号	大月市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例中改正の件															
	第4号	大月市手数料条例中改正の件															
	第5号	大月市社会教育委員に関する条例中改正の件															
	第6号	予防接種による心身障害者等に対する見舞金等の支給に関する条例廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第7号	大月市重度心身障害者医療費助成条例中改正の件	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	
	第8号	大月市病院事業の設置等に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第9号	大月市消防団員等公務災害補償条例中改正の件															
	第10号	大月市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	第11号	大月市火災予防条例中改正の件															
	第12号	大月市行政財産使用料条例中改正の件															
	第13号	大月市学校施設及び公民館使用に関する使用料条例中改正の件															
	第14号	大月市民会館条例中改正の件															
	第15号	大月市立図書館条例中改正の件															
	第16号	大月市郷土資料館条例中改正の件	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	
	第17号	大月市西部ふれあいセンター条例中改正の件															
	第18号	大月勤労者体育センター設置及び管理条例中改正の件															
	第19号	大月市民の体育施設の設置及び管理に関する条例中改正の件															
	第20号	大月市西部農村環境改善センター条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	第21号	大月市農産物加工場設置及び管理条例中改正の件															
	第22号	大月市総合福祉センター条例中改正の件	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	
	第23号	大月市下水道条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	第24号	大月市簡易水道事業給水条例中改正の件															
	第25号	大月市立中央病院使用料等徴収条例中改正の件	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	

[illegible]

3月定例会

一般質問

一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

今定例会では、7名の議員が質問を行いました。

● 代表質問

- | | |
|---|--------|
| (1) 西室 衛議員 (清風会&公明) | 9 ページ |
| ①今回の大雪災害での経験をどのように生かしていくのか
②大雪時における消防・救急業務の問題点は | |
| (2) 小原丈司議員 (山と川の街大月) | 10 ページ |
| ①大雪に対する教訓、課題、対策を示せ
②市道インフラの修繕計画を示せ | |
| (3) 卯月政人議員 (NEW・OTSUKI) | 11 ページ |
| ①児童生徒の教育環境について
②インフラ整備について | |
| (4) 小林信保議員 (スマイル) | 12 ページ |
| ①「住んでよかった」「住んでみよう」と思うまちとは。その為に必要なことは
②今回の大雪時の情報の受発信は | |
| (5) 藤本 実議員 (日本共産党) | 13 ページ |
| ①大月市立中央病院新病棟建設の意義は
②大雪の対応から備蓄等の計画は | |

● 個人質問

- | | |
|--|--------|
| (6) 鈴木章司議員 | 14 ページ |
| ①大月インター以西改良計画は
②市民ができる自助と共助は | |
| (7) 山田政文議員 (スマイル) | 15 ページ |
| ①定住対策、空き家の活用、子育て支援、木材資源の活用等について提案する
②人口減少の具体的な取り組みは | |

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録（5月下旬発行予定）を図書館及び市のホームページ (<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>) で閲覧することができます。



市政を問う

代表質問

清風会 & 公明
西室 衛

Q 今回の大雪災害での経験をどのようになかしていかのか

A 地域防災計画に反映するとともに、地震災害対策等になかしていか

問 災害対策本部の設置と活動内容、情報提供はどのように行ったのか

また、今回の大雪災害での経験をどのように生かしていかのか。

答 市長

交通や運行状況などの情報を収集し、それを防災行政無線などにより市民に伝えること、国道20号に立ち往生している車両の滞留者やJR各駅に停車している

電車内の乗客に対応するため避難所を開設すること、市内の要援護者、高齢者世帯の方々の安否確認を行うこと、建物などの被害状況の把握に努めること、さらには道路の除雪作業を速やかに行うことなどを指示するとともに、全職員が対応に当たるといふ災害対策本部を設置いたしました。

また、避難所のほかにも立ち往生している車両に滞留されている方々や停車中の電車の乗客の皆さんもあり、このような方々に対し、ましても沿道やJR駅周辺の多くの住民の方々に心温まる炊き出しなどのご支援をいただき、無事に帰宅された方々からお礼の手紙やメールを数多くいただいております。

市民の皆様への優しい心やおもてなしに、この場をおかりいたしました、改めて感謝を申し上げる次第であります。

今後災害対策本部会議による各対策の対応状況や課題等について取りまとめを

行い、大月市地域防災計画に反映するとともに、これからの地震災害や風水害、雪害対策等に生かしてまいりたいと考えております。

Q 大雪時における消防・救急業務の問題点は

A 緊急車両であつても現場に到着することが困難であつた

問 消防・救急業務の問題点は。

答 消防長

現場到着に長時間かかる

と予想される地域での救急出動に際しましては、消防団や市民の皆様にご協力をお願いし、救急隊に引き継ぐという連携プレーを行いました。

大勢の皆様のご協力により、大切な命が救われたこ

その他の質問

問 ふるさと納税に対する取り組みについて

と同時に災害時に共助ができる地域の力を感じたところであります。
ご協力をいただきました市民の皆様へ心からお礼を申し上げます。



山と川の街大月

小原 丈司

Q 大雪に対する教訓、課題、対策を示せ

A 除雪路線の見直し、除雪対応マニュアルの策定と外部からの支援体制の整備を検討する

問 2月14日から15日の記録的な大雪は、山梨県内にも極めて広域に被害をもたらしたが、再び発生が予測される中、自治体や市民はどのような対策を立てればいいのか。教訓、課題、対策を示せ。

答 市長 今回これまでに経験のない大雪に対応するに当たり、交通網の乱れによる避難所の設置を初め、市民からの苦情、相談、除雪にかかわる多くの課題が明確となりました。

具体的には、国、県道を含めた除雪路線の優先順位、孤立住宅への対応等判断に迷うことや、新たな取り組みの必要性を感じたところであります。

今後起こり得る雪害対策につきましても、今回の大雪の経験を生かして積雪量に対応した除雪路線の見直しや、客観的な優先順位づけを行うための除雪対応マニュアルの策定と外部からの支援体制の整備を検討してまいりたいと考えております。

また、整備後には適切に市民の皆さんに周知してまいりたいと考えております。

Q 市道インフラの修繕計画を示せ

A 来年度は、修繕計画の策定を予定しており、必要な修繕を総合的に判断し、整備を進めてまいりたい

問 市道が傷んでいるところが多く見られます。雪の後は毎年そうですが、雪で傷む前の補修箇所も継ぎはぎが多く見られます。この市道インフラをどのような計画で修繕するのか。

答 産業建設部長 厳しい予算状況の中、今後急速に老朽化する道路インフラにつきましては効率的かつ計画的な維持管理、修繕が求められております。そのためには維持管理計画の策定が急務でありまし

て、今まで行ってきた事後保全型の管理ではなく定期的な点検、小規模な修繕を行う予防保全型の修繕により、費用の削減を図り、安全に通行できる交通網を確保するため、平成23年度に大月市橋梁長寿命化修繕計画、平成25年度には大月市舗装修繕計画を策定し、既に修繕に着手しております。来年度におきましては、道路のり面、道路標識などにつきましても点検、修繕計画の策定を予定しており、必要な修繕を総合的に判断し、整備を進めてまいりたいと考えております。

代表質問



NEW・OTSUKI

卯月 政人

Q 児童生徒の教育環境について

A 保護者、教育現場と十分協議し、慎重に判断する

問 全国学力・学習状況調査結果公表方法、土曜日授業への考えは。

可能であると示されました。本市では県教育委員会や他の市町村教育委員会との連携を図り、校長会などとも十分に協議を行い、公表方法について慎重に判断してまいりたいと考えております。

答 教育長

文部科学省から全国学力・学習状況調査に関する実施要領について、大きな改正が行われ、当該市町村における公立学校全体の結果について、公表することが

可能であると示されました。本市では県教育委員会や他の市町村教育委員会との連携を図り、校長会などとも十分に協議を行い、公表方法について慎重に判断してまいりたいと考えております。学校教育法施行規則の一部改正は土曜日等に授業実施することが可能であるとしました。



猿橋中学校

実施する場合には教職員の勤務体制、スポーツ少年団などの活動、学校施設の場所提供など課題を整理する中で保護者や学校などと協議していくことが先決であると考えております。

Q インフラ整備について

A 交付金等を有効に利用し整備に努める

問 交付金を利用した災害・環境対策・観光活性化策へのインフラ整備の予定は。

国の10割補助である、再生可能エネルギー等導入推進基金事業を活用いたし、指定避難所である猿橋中学校に太陽光発電7・5キロワット、蓄電池15・0キロワットアワーの太陽光発電システムの設置を計画しております。

答 市長

次世代自動車充電インフラ整備促進事業については国からの交付金に併せ、自動車メーカー4社による支援制度もありますので設置の必要性、利用頻度などを検討の上判断をしてまいりたいと考えております。



急速充電スタンドイメージ